

第2次高島市総合計画「かもす」



梅村 勝久 議員

商工業者が減少しているが施策は？

答

商工会等と連携し経営安定化を支援します。

生産年齢人口が急激に減少していることから持続可能な高島市を実現するために「第2次高島市総合計画」は重要。しかし雇用を確保する施策は十分とは思えない。次の点を問う。

問

総合計画の中で、現状を商工業者減少と書かれている。担い手問題に対する施策は。

答

商工観光部長
事業者の経営向上を支援することが、後継者問題にも有効な施策であると考えており、引き続き商工会等と連携し経営安定化を支援します。

問

想定している創業支援体制とは。

答

商工観光部長
高島市創業支援事業計画を策定し、平成28年度から商工会と共に、「たかしま実践型創業塾」を開催しています。また創業希望者に

ワンストップ窓口で幅広く相談に対応しています。

問

「新商品や新技術の開発支援」とあるが、どのような支援なのか。

答

商工観光部長
高島ちぢみと高島帆布の新素材の開発や、ブランドのPR、さらには販路開拓を目的とした「ピワタカシマ素材展」は引き続き支援を想定しています。また、今年度から実施の「高島いいモノ・いいコトグランプリ」も支援しておりグランプリを取られたものは広報し、「かもす家」で販売をしています。

問

生産性向上の支援よりも付加価値を生み出すことで企業の商品力や体力を高め基盤整備につながると思うがいかがか。

答

商工観光部長
設備投資奨励金で商品の付加価値を高める設備を導入された例もあります。しかしながら高付加価値な製品には新たな発想と商品化への試作や専門家の助言が必要と考えます。

問

産業政策「かもす」で大きく基幹産業にまで育てていただきたい。

答

政策部長
総合戦略の取り組みの中で、発酵食関係の新たなビジネス展開は目指すべきところであり、ご提案の研究機関の活用や商品開発については、今後研究してまいります。



近江高島 かもす家

問

「かもす」から発想される食品分野は農水産畜産などの1次産業から発酵食品まで連想される。高島に合った成長分野として食品の商品開発に「公設試」を活用することについてどう思うか。

答

商工観光部長
商品開発の技術的支援には公的機関の活用は重要と認識しております。

用語解説

●公設試：

公設試験研究機関。地方公共団体が設置した試験所、研究所、指導所その他の機関。

その他の質問

●森林の将来を問う